

計画等案「さかつる水道事業ビジョン（案）」・「さかつる水道事業ビジョン【概要版】（案）」に以下のとおり誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。

▼「さかつる水道事業ビジョン（案）」48 ページ「(2) 内部環境」

誤	正
<p>①構造物および設備の経年化 施設の構造物および設備の更新需要※1として、法定耐用年数で更新した場合は、今後40年間で約310億円が必要になります。そのため、構造物および設備の延命化を検討する必要があります。</p>	<p>①構造物および設備の経年化 施設の構造物および設備の更新需要※1として、法定耐用年数で更新した場合は、今後40年間で約320億円が必要になります。そのため、構造物および設備の延命化を検討する必要があります。</p>
<p>図表「40年間で約310億円」</p>	<p>図表「40年間で約320億円」</p>
<p>②管路の経年化 管路の更新需要として、法定耐用年数で更新した場合は、今後40年間で約630億円が必要になります。そのため、管路の延命化を検討する必要があります。</p>	<p>②管路の経年化 管路の更新需要として、法定耐用年数で更新した場合は、今後40年間で約710億円が必要になります。そのため、管路の延命化を検討する必要があります。</p>
<p>図表「平成29（2017）年度以前分は約181億円」、「40年間で約630億円」</p>	<p>図表「平成29（2017）年度以前分は約190億円」、「40年間で約710億円」</p>

▼「さかつる水道事業ビジョン【概要版】（案）」6 将来の事業環境

誤	正
<p>更新需要の増加 施設の構造物および設備を法定耐用年数で更新した場合は、今後40年間で約310億円が必要になります。また、管路を法定耐用年数で更新した場合は、今後40年間で約630億円が必要になります。そのため、優先順位やダウンサイジングを考慮した更新を検討する必要があります。</p>	<p>更新需要の増加 施設の構造物および設備を法定耐用年数で更新した場合は、今後40年間で約320億円が必要になります。また、管路を法定耐用年数で更新した場合は、今後40年間で約710億円が必要になります。そのため、優先順位やダウンサイジングを考慮した更新を検討する必要があります。</p>
<p>図表8「40年間で約310億円」</p>	<p>図表8「40年間で約320億円」</p>
<p>図表9「平成29（2017）年度以前分は約181億円」、「40年間で約630億円」</p>	<p>図表9「平成29（2017）年度以前分は約190億円」、「40年間で約710億円」</p>